



## 新赴任医師の紹介

■ 外科医員

いずかわ しょうた  
伊豆川 翔太



得意分野	消化器外科
資格、専門等	PTLS ACLS 緩和ケア研修会修了
所属学会	日本外科学会

外科の後期研修医として、十和田市立中央病院に赴任することになりました。地域の中核病院である当院なら、多くの症例を経験できると考えております。また、医師不足の地域医療の実状をこの目で実際に経験してみたいと期待しております。まだまだ未熟で、皆様に色々ご迷惑をおかけすること多いかと思いますが、元気良く精一杯、日々の診療に臨んでいきたいと思っております。



## 「十和田がん学術講演会」開催

がん化学療法看護認定看護師 佐々木 美紀

### 特別講演「切除不能大腸がんの新たな治療戦略」

■ 開催日：2018年2月16日（金）

■ 講師：東北大学病院 腫瘍内科 高橋 信 先生

立春とは申しませんが、まだまだ寒さ厳しい平成30年2月16日、十和田市立中央病院別館講堂に於いて「十和田がん学術講演会」が開催されました。当日は、週末の多忙の中、医師、薬剤師、看護師など合わせて41名が参加し、充実した講演会が行われました。



座長の当院外科  
科長 北村 洋 先生

特別講演は、東北大学病院 腫瘍内科 高橋 信先生をお迎えして「切除不能大腸がんの新たな治療戦略」について解説して頂きました。大腸がんのキードラックであるオキサリプラチンやイリノテカンの治療成績、イリノテカンの副作用である下痢のマネジメント方法、FDAで免疫チェックポイント阻害薬が一部の遺伝性大腸がん承認されたため、日本でも今後導入が期待されること、右半結腸と左半結腸とで発生学の違いから、分子標的治療薬の効き方に違いがあることなど、現在行われている治療から最近の話題まで幅広く講演して頂きました。

最後に高橋先生から、医療の目的は「患者がより良く生きることが重要である」とのメッセージを頂きました。今回の学びを患者に還元できるように、日々努力していきたいと思っております。





# 「平成 29 年度医療安全事例発表会」開催

平成 30 年 1 月 18 日（木）、当院別館 2 階講堂において「平成 29 年度医療安全事例発表会」が開催されました。普段感じていること、注意していることや現場の取り組みを発表、共有することを通し、医療安全の向上を目指しています。

## 発表内容

### 1 6階西病棟

発表者：山口久美子・沼澤夏来  
「見守りスタッフと協働による安全対策への取り組み」



### 2 放射線科

発表者：櫻田文博  
「MRI 検査における注意点」



### 3 外来

発表者：赤石真寿美  
「他部門が関連したインシデント事例の検証」

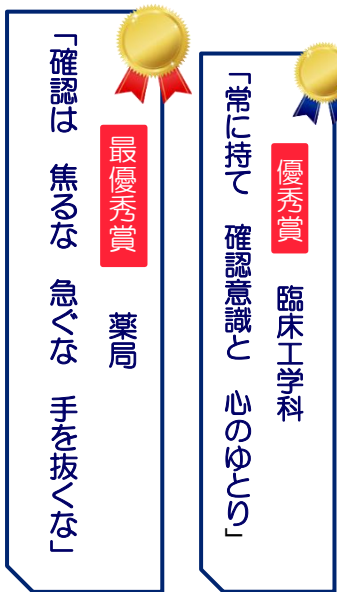


### 4 医療安全対策室

発表者：三浦里美  
「十和田市立中央病院におけるインシデントの傾向・分析 履物調査の結果」



事例発表終了後には『第 5 回医療安全スローガン大賞』の表彰式が行われ、選ばれた 2 作品の考案者に、委員長の工藤優先生より賞状と景品が授与されました。



月間スローガン	
1月	小さな手間を惜しまずに 大きな安心 マニュアル確認（臨床検査科）
2月	過信大敵 流すなチェック（放射線科）
3月	どうしよう、思ったその場で 報(告)連(絡)相談（リハビリテーション科）
4月	見落とさず しっかり確認 コメント内容（栄養科）
5月	常に持て 確認意識と 心のゆとり（臨床工学科）
6月	「折り返します」 不審な電話は 繋がらない（医事課）
7月	名前確認 状態確認 点滴確認（医局）
8月	忘れるな 基本動作と 危険予知（看護局）
9月	確認は 焦るな 急ぐな 手を抜くな（薬局）
10月	小さな不安 相談すれば 大きな安心（臨床検査科）
11月	慣れた時ほど 再確認!!（放射線科）
12月	「もしかして?!」 小さな気配り 転倒防止（リハビリテーション科）

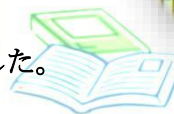


## 本の寄贈のご紹介

【平成 29 年度】当院医療情報センター内図書室にたくさんの本をご寄贈いただきました。ご厚意に深く感謝申し上げます。

久保田 敏子 様

80 冊をはじめ 1 年間で 155 冊ご寄贈いただきました。



## 外来担当医表

※随時更新しておりますので、下記の URL からのご確認をお願いします。

<http://www.hp-chuou-towada.towada.aomori.jp/03sinryo/03gairaiDoctorList.html>